

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

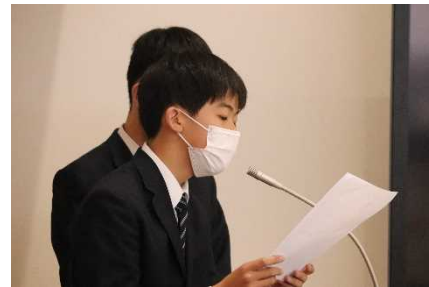
学校名【 つくば市立秀峰筑波義務教育学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	4年生(109名) 5年生(109名) 6年生(145名) 7年生(137名) 8年生(127名) 9年生(140名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (特別活動、道徳) ② 行事名 (オリンピック・パラリンピック推進事業) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・夢をもつことや、どんなに苦しくてもあきらめないうで努力することの大切さを学ぶ。 ・オリンピックから直接話を聞くことで、運動を楽しむ心の醸成やスポーツへの関心を高め、生涯スポーツの基礎を培う。
5 取組内容	○オリンピックによる講演会 1. 実施日 令和3年11月16日(火) 2. 時間 10:40~11:30 3. 講師 オリンピアン 水球日本代表 大川慶悟 選手 ・リオオリンピック、東京オリンピックの2大会出場 ・秀明大学 講師 4. 対象 第4学年~第9学年(767名) ・8年生のみ紫峰ホールに集合し、直接講演を聞いた。他の学年はZoomで配信されたものを教室で聞いた。 5. 事前指導 ・対象児童生徒のオリンピック・パラリンピックの事前意識調査(筑波大との連携、マークシート形式) ・オリンピック・パラリンピック選手を扱った道徳の授業の実施 ・体育の授業の中で、オリンピック・ムーブメントについて学習 6. 事後指導 ・事後アンケートの実施(筑波大との連携、マークシート形式) ・事後の感想、応援手紙の作成

7. 当日の様子



水球日本代表 大川選手 スライドを使いながら分かりやすく説明



当日の運営は生徒会役員が担当



講演会は新型コロナウイルス感染防止のため、紫峰ホールに8年生のみが集まり、他の学年は教室でZoomによる配信映像を視聴した。

6 主な成果

- リオオリンピック、東京オリンピックの様子をオリンピックから直接聞くことで、オリンピックに対する憧れや、選手として出場したいという気持ちを児童生徒がもつことができた。また、スポーツに対する興味・関心も高まった。
- 日本代表として勝利するために日々努力していることや、日頃気を付けていることを直接伝えていただいたことで、あきらめずに努力を続けることの大切さに児童生徒が気付くことができた。また、夢や目標をもって生活することの大切さについても伝えていただき、児童生徒がそれぞれの目標をもつきっかけとすることができた。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- 現役のオリンピックを講師として招いたことで、児童生徒がオリンピック競技を身近に感じ、興味・関心を高めることができた。
- 事前の打ち合わせで、日本代表に選ばれるための努力や世界で勝つための努力など、日々気を付けていること、工夫していることを強調して話してほしいことを伝えていたため、児童生徒にも分かるように丁寧に講演をしてくださった。
- Zoomで配信し、できるだけ多くの児童生徒に講演内容を伝えることができた。また、質問に関しても、会場にいた児童生徒だけではなく、チャットを用いて、Zoomで聞いていたクラスからも質問を受け付け、回答していただくことができた。
- 直接会えない学年が多かったため、学年ごとにサインをいただき、学年フロアに掲示することで、事後の指導に役立てることができた。

8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・本来であればメインアリーナ等、広い場所に全学年集まり、オリンピックを目の前にして講演を聞かせたかったが、新型コロナウイルス感染予防のため集まることができなかった。 ・希望する児童生徒に握手等の機会をもちたかったが、新型コロナウイルス感染予防のため実施できなかった。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の講演を聞いて刺激を受けた児童生徒が、教師が予想していたよりも多かったため、次年度以降、オリンピック・パラリンピアンからの講演や実技指導等をしてもらえる機会を計画していきたい。 ・大川選手から水泳指導等、お手伝いできることがあれば声をかけてほしいとのお話があったので、前期課程の学年を中心に先生方の要望を吟味しながら、今後の関わりも継続して行っていきたい。